

学校教育目標	「輝く笑顔 二東生」
目指す学校像	○笑顔(スマイル)があふれる学校 ○保護者、地域とともにある学校 ○勤めてよかったと思える学校
重点目標	1 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る「生徒が主体となる」授業づくりの実現 2 生徒指導・教育相談の充実を基盤とした、豊かな人間性や心をはぐむ学校づくりの実現 3 学校運営協議会を中核とした、「地域とともにある学校づくり」の推進 4 安全・安心で快適に過ごせる教育環境の整備及び予算執行の適正化 5 組織で協働し、チームワークを発揮できる、心身ともに健康な教職員集団の育成

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

心のサポートに関する取組

地域とともある取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校自己評価							学校運営協議会による評価		
年度目標			年度評価				実施日 令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	(現状) ○生徒主体の授業づくりに向けた授業改善を進め、令和7年度「学びの指標」第2回の4項目における校内平均が、中学校平均及び昨年度平均を上回った。 ○学校評価の授業に係る項目における生徒の肯定的回答が9割を上回った。 (課題) ○令和7年度全国学力・学習状況調査及び市学習状況調査において、全国及び市の平均に届かない教科が多い。 ○学びの定着に課題がある生徒が多く、限られた授業時間でICTを効果的に活用した、学び方・教え方(支え方)の授業改善が一層求められる。	・個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る生徒主体の授業づくりの実現 ・生徒用及び教職員用タブレットを活用した学び方・教え方(支え方)の工夫・改善	①生徒用・教職員用タブレットを効果的に活用し「学びの指標」を意識した生徒主体の授業づくりを推進する。 ②全教員や関係小学校を対象とした公開授業週間の実施や管理職による授業参観を複数回設定し、授業を見合い、アドバイスし合うことを通して授業力向上につなげる。 ①新たに配備されたiPadや協働学習用ソフト、デジタルドリル教材、デジタル教科書等のICT機器を効果的に活用する。 ②朝読書やチャレンジタイムの時間の確保及びチャレンジスクールへの参加を通して個に応じた学びを推奨する。	①「学びの指標」第2回の4項目における校内平均を、令和7年市中学校平均の3.2以上にすることができたか。(教職員) ②学校評価「授業に集中して、積極的に取り組んでいる」「授業が分かりやすく、楽しい」の項目において、肯定的回答を9割以上にすることができたか。(生徒) ①学校評価「授業や家庭学習において、タブレット端末を有効に活用できている」の項目において、肯定的回答を9割以上にすることができたか。(生徒) ②年間を通して、朝読書・チャレンジタイムの時間を確保し、チャレンジスクール(検定含む)を20回実施できたか。					
2	(現状) ○学校評価の教育相談・生徒指導に係る項目における生徒の肯定的回答が9割を上回った。 ○生徒指導委員会や教育相談部会(毎週実施)を中心とした教職員同志の情報共有やコミュニケーションにより、組織的対応につながっている。 (課題) ○生徒一人ひとりに寄り添った組織的な支援体制の構築と学校内外の専門機関との連携・協力が引き続き必要である。 ○教職員の人権意識の向上により、アンテナ高く生徒の異変やトラブルを察知し、対応につなげる機動力が求められる。	・豊かな人間性や心をはぐむ生徒指導の充実 ・生徒・保護者に寄り添い、個に応じた教育相談及び支援体制の充実	①毎週開催の生徒指導委員会を中心に情報共有と指導方針の確認を徹底し、必要に応じて校内外の専門機関との連携を図る。 ②心と生活のアンケートやいじめアンケート、おはようメーター等を効果的に活用し、いじめの早期発見・早期解決につなげる。 ①毎週開催の教育相談部会で情報を共有し、相談員・養護教諭・SC・SSW等専門的な知見を活かした支援を行う。 ②生徒や保護者の状況に応じてSolaルームやオンライン学習、校外の専門機関等個別の支援の充実を図る。	①学校評価「学校の決まりや時間など、約束事を守っている」「いじめを見逃さない学校づくり」の項目において、肯定的回答を9割以上(生徒)、8割以上(保護者)にすることができたか。 ②学校評価「生徒指導」の項目において、肯定的回答を9割以上にすることができたか。(教職員) ①学校評価「思いやり」「相談」の項目において、肯定的回答を9割以上(生徒)、8割以上(保護者)にすることができたか。 ②学校評価「教育相談」の項目において、肯定的回答を9割以上にすることができたか。(教職員)					
3	(現状) ○令和7年度市学習状況調査の質問項目「地域との関わり等」について、3つの項目すべてで市平均を大きく上回った。 ○保護者や地域に学校行事や授業の公開を行い、地域とともにある学校づくりを推進している。 (課題) ○個人情報や著作権等に十分配慮しながら、教育活動や生徒の活躍等を積極的に情報発信するとともに、保護者や地域への学校公開の機会の設定の充実が引き続き求められる。 ○地域を担う人材育成の観点から、地域との連携が引き続き必要である。	・学校運営協議会を中核とした家庭及び地域との協働 ・ICT機器等を活用した情報発信及び教育活動の参観機会の充実	①育てたい生徒像である「あいさつができる生徒」の育成を図り、家庭・地域と協働して、あいさつの推進を図る。 ②自分ができる地域貢献として、地域のイベントやボランティアへの参加を生徒・保護者に広く呼び掛ける。 ①教育活動の様子や情報を学校連絡ツール「スクリレ」を活用して広く発信する。 ②保護者が直接生徒の様子や教育活動を参観できる学校公開の機会を適宜設ける。	①学校評価「あいさつ」の項目において、肯定的な回答を9割以上(生徒)、8割以上(保護者)にすることができたか。 ②学校評価「地域との協力」の項目において、肯定的な回答を9割以上(生徒)、8割以上(保護者)にすることができたか。 ①学校評価「参観の機会、情報発信」の項目において、肯定的な回答を9割以上にすることができたか。(保護者) ②授業参観や学校行事の学校公開を年間10回以上実施することができたか。					
4	(現状) ○学校評価「美しい環境・校内環境の整備」の項目において、肯定的回答が生徒・保護者ともに9割を上回った。 ○開校42年目となり、施設等の破損や劣化が見られる箇所が多く見受けられるようになり、必要に応じて教育委員会と連携を図りながら、修繕の遂行を図っている。 (課題) ○体育館の雨漏りや昇降口前タイルの隆起、プロジェクタ・空調機の不具合等、都度素早く対応しているが、対処療法が多い。	・施設等の破損に係る修繕及び美しい環境づくりの推進 ・予算執行の適正化による安全・安心で快適な学校環境づくりの推進	①毎月実施の安全点検及び適切な事後対応を図り、用務担当・事務職員・安全主任と連携した修繕を行い、必要に応じて教育委員会と連携を図る。 ②生徒委員会を中心として、清掃や環境整備の充実を図り、美しい環境づくりを推進する。 ①会計担当者会議の定期的な開催及びPTAによる中間監査の実施による予算執行の管理を確実に実行。 ②事務職員との連携を十分に図り、予算執行管理を適正に行う。	①学校評価「美しい環境づくり・校内環境の整備」の項目において、肯定的な回答を9割5分以上にすることができたか。(生徒・保護者) ②学校評価「生徒会活動」の項目において、肯定的な回答を9割以上にすることができたか。(教職員) ③施設等の破損に係る学校事故を防止することができたか。 ①学校評価「庶務会計」の項目において、肯定的な回答を10割にすることができたか。(教職員) ②予算執行に係る管理を適正に行い、確実に執行することができたか。					
5	(現状) ○勤務に関する意識調査及びストレスチェックの結果から、職場の環境について、協働できる体制にあり風通しのよい環境と感じている職員が多い。 ○学校課題研修を中心に、ICT機器の活用や授業づくりに係る研修を計画的に実施している。 (課題) ○教職員用コンピュータの効果的な活用や業務量管理、年次休暇等の積極的な取得促進等、教員が心身ともに健康で、生徒と向き合う時間を十分に確保できるような職場環境の継続が必要である。	・持続可能な自走集団としてチームワークを発揮できる教職員の育成 ・心身ともに健康で、前向きに職務を遂行できる風通しのよい職場環境づくりの推進	①キャリア段階やこれまでの業務経験、得意や課題を踏まえ、分掌主任を1つ以上務め、提案や職員間の協働を通して主体的な取組を促進する。 ②学校DX部や研修主任と連携を図り、校内研修を通して、教職員のスキルアップを図る。 ①「人で抱え込まず、生徒や保護者対応等、学年や分掌、管理職との連携のもと組織で行うことを徹底し、安心して職務が遂行できる体制を整える。 ②職場の言語環境を整え、明るく前向きな言葉や、相談しやすく休みの取りやすい雰囲気のある職場環境づくりを推進する。	①学校評価「主体的な取組・協働・円滑なコミュニケーション」の項目において、肯定的な回答を9割以上にすることができたか。(教職員) ②学校評価「学校課題研修」の項目において、肯定的な回答を9割以上にすることができたか。(教職員) ①勤務に関する意識調査「風通しのよい職場・業務に関する相談・協働し合う体制の整備」の項目において、肯定的な回答を9割以上にすることができたか。(教職員) ②教職員各自の自己評価シートにおける「研修・働き方改革」について、予定通りに進めることができたか。					